

平成26年度 ユーザー理解活動計画

<p>《平成25年度振り返り総括》</p> <p>ユーザー理解活動の訴求点である『①リサイクル料金の使われ方』『②ユーザーの自動車リサイクルシステムとの関わり方』について理解活動を継続して推進した。この活動により8割以上の自動車ユーザーが自動車リサイクル制度の存在を認知し、リサイクル料金支払いや使用済自動車引渡しといった基本内容についても定着してご理解いただいている。</p> <p>他方、平成24年度に実施した認知度調査の結果、30歳以上の認知度が87.5%であるのに対して、30歳未満の若者の認知度は68.9%と認知差が見られたことから、若者の認知度の向上に向けた取り組みを重点課題とし、特に運転免許取得のために自動車教習所に通う方々、所謂、自動車ユーザー予備軍に対して重点的に周知活動を推進した。</p>	<p>《平成26年度活動》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●30歳未満の若者の認知度が低い傾向にあることを踏まえ 継続して若者の年代が多い自動車ユーザー予備軍を対象とした広報活動に力点を置く。 ●平成26年度の新規の施策としては、 <ul style="list-style-type: none"> ①自動車リサイクルの活動をより解りやすくするため、解説を加えた短編映像を制作し、ホームページに掲載したり、イベント時の説明ツールとして活用する。 ②自販連・全軽自協、自再協などの意見を聴きながら、直接ユーザーと接する新車販売店が説明し易いツールを制作する。 ③消費者の意見を聴きながら、ホームページを改善したり、理解を深める施策を検討する。
--	---

(金額、単位:万円)

活動項目	平成25年度 振り返り	予算		予算執行率	平成26年度 活動ポイント	予算 (案件)			前年比 (対予算)
		計画	見込み			計	継続	新規	
チラシ等の作成・配布		150	150	100%		1,020	170	850	680%
1	チラシ制作	150	150	100%	* ◎自販連・全軽自協と連携し、直接ユーザーと接する新車販売店が説明し易いツールを提供する。(Ex 新車販売店の机の上に置ける、下敷き、カレンダーなど)	520	170	350	347%
	短編映像制作	0	0	-	◎これまでの文字やポンチ絵を使った周知だけでなく、自再協・ASRチーム等と連携し、短編映像による周知を展開する。(Ex 制度の概要、関係者による活動の実績、自動車製造業者等による環境技術(新フロン、ISO化したエアバッグ類、ASRの極小化、素材、等々))	500	0	500	-
2	ホームページ	0	0	-	◎ホームページをよりよく活用していただくために、利用状況を見ながら上記活動で制作した短編映像を活用した周知を推進する。 ◎消費者の意見を聴き、また消費者等への広報活動の実績がある容器包装、家電などの他団体の活動例を参考にしながら、消費者等への周知の広がりを図る。	210	0	210	-
3	イベント出展・参加	600	600	100%	・今年度もエコプロダクツに出展する予定。引き続き自再協と連携し対応する。	600	600	0	100%
	自動車教習所での活動	1,250	1,244	100%		1,300	1,300	0	104%
4	運転免許学科教本への掲載	910	908	100%	・自動車リサイクルの取組みを運転免許学科教本78万部に掲載する。 *78万部は教本制作会社が計画する発行部数 ・他制作会社への掲載依頼を継続して実施する。	950	950	0	104%
	映像配信	340	336	99%	・自動車リサイクルを紹介する映像を自動車教習所で配信する。 ・上記活動で制作した短編映像に切り替え、周知を推進する。 *全国教習所約300校、8月・3月実施予定	350	350	0	103%
5	認知度調査	100	100	100%	・3ヵ月以内に自動車を購入した1,100 人に認知度調査を実施(平成27年3月予定) ・併せて自動車リサイクルに関する要望・意見を聴き、次の活動に反映できるようにした。	110	110	0	110%
	合計	2,100	2,094	100%	合計	3,240	2,180	1,060	154%

*◎は平成26年度新規案件